平成23年度 国際文化系研修 JIAM事例フォーラム

多文化共生のまちづくり
～外国人パワーで地域を豊かに！～

グローバル化の急速な進展により、地域を取り巻く環境も日々変化してきており、外国人観光客の誘致や、外国人住民の増加、定住化による多文化共生（※）の取り組み等外国人という切り口のもと、様々な施策や事業が各地で行われています。また、他方では、既存の地域資源や特色を活かしてその地域ならではの魅力を発掘し、地域の活性化につなげようとする取り組みが行われています。

そこで、当事例フォーラムでは、「外国人と地域活性化」というテーマのもと、地域の多様な主体が関わることの重要性や様々な手法によるアプローチを行うことで、地域全体の活性化につながることを事例を通して学びます。また、受講者同士の意見交換や討議を通じて全国各地の取り組み事例について学び、考えることで、受講者自身の地域に合わせた取り組みに活かせるヒントを得ることを目指します。事例には、様々な立場で地域の魅力づくりに取り組まれている方々にご登場いただきます。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

※「多文化共生」・・・国籍や民族の異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと（2006年総務省「多文化共生の推進に関する研究会報告書」より）

開催要領

日　程　平成23年10月18日（火）～10月19日（水）〈2日間〉

場　所　全国市町村国際文化研修所
滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号（ＪＲ京都駅より湖西線約15分　唐崎駅下車徒歩約3分）

対　象　地域活性化、観光産業、文化振興、多文化共生関係等に取り組まれている、市区町村・都道府県の職員・議員、地域国際化協会・市町村国際交流協会、NPO等の職員のみなさま
※NPOの方は自治体と協働実績のある方が対象です。

募集人数　50人
募集人数を大幅に上回るお申し込みをいただいた場合は、先着順とさせていただきます。
また、申込期限前に締め切らせていただく場合がありますので、予めご了承ください。

宿　泊　全国市町村国際文化研修所宿泊棟（宿泊型研修）

経　費　7,300円
上記金額は、研修、宿泊、食事（朝食1回、昼食2回、夕食1回）、資料等にかかる費用です。

申込期限　平成23年9月5日（月）まで

申込方法　裏面の参加申込書により、全国市町村国際文化研修所教務部にFAX（077-578-5906）していただくか、または、JIAMホームページ（http://www.jiam.jp）の「Web申込み」から直接お申し込みください。
経費納入方法等につきましては、別途受講決定通知書によりお知らせいたします。

問い合わせ先
財団法人　全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所（JIAM）教務部
〒520-0106　滋賀県大津市唐崎２丁目13番１号　TEL 077-578-5932　FAX 077-578-5906
ホームページ　http：//www.jiam.jp　e-mail：kenshu@jiam.jp
JAPAN INTERCULTURAL ACADEMY OF MUNICIPALITIES
全国市町村国際文化研修所

10/18（火曜日）

11：00～　**入寮・昼食**

12：45～　**開講・開講オリエンテーション**

13：00～13：40　**基調講義「多文化共生のまちづくり ～外国人パワーで地域を豊かに!～」(仮)**

（特活）多文化共生センター大阪　代表理事　田村 太郎　氏

外国人と地域活性化について、その背景と現状についてご講義いただきます。

13：40～15：50（途中休憩あり）　**事例紹介**（※50音順 当日の登壇順とは異なります）

（事例）キムチ販売で地域経済・雇用を活性化

(有)うめちゃんキムチ本舗　代表取締役　阿部 梅子　氏

（事例）外国人従業員と共に地域の伝統を活かした町おこし

(株)桝一市村酒造場　代表取締役　市村 次夫　氏

（事例）演劇手法を用いた多文化共生の地域づくり

可児市文化創造センター aLa(アーラ)　館長兼劇場総監督　衛 紀生　氏

（事例）地域融合型ゲストハウスで 外国人観光客の誘致とまちづくり

(株)宿場JAPAN　代表取締役社長　渡邊 崇志　氏

【コーディネーター】

（特活）多文化共生センター大阪　代表理事　田村 太郎　氏

16：05～17：30　**パネルディスカッション**

田村氏のコーディネートのもと、事例発表いただいた上記4名の方によるパネルディスカッションを行っていただきます。

17：30～　**入寮オリエンテーション・交流会**

10/19（水曜日）

9：00～ 9：25　**グループ分け**

9：25～12：00　**グループワーク**

【コーディネーター】

（特活）多文化共生センター大阪　代表理事　田村 太郎　氏

前日の事例発表を基に「外国人と地域活性化」をテーマに、グループごとに意見交換を行い、自らの地域について考えます。

13：00～14：10　**発表・まとめ**

【コーディネーター】

（特活）多文化共生センター大阪　代表理事　田村 太郎　氏

【コメンテーター】(※50音順)

(有)うめちゃんキムチ本舗　代表取締役　阿部 梅子　氏
(株)桝一市村酒造場　代表取締役　市村 次夫　氏
(株)宿場JAPAN　代表取締役社長　渡邊 崇志　氏

午前中のグループワークの発表と、まとめを行います。

14：15～　**閉講**

◎上記については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。
　なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページ(http://www.jiam.jp)をご覧ください。
◎受講者による授業中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。
◎JIAMでは、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所でお願いいたします。

★講師紹介

田村 太郎(たむら たろう)氏：特定非営利活動法人 多文化共生センター大阪　代表理事



兵庫県伊丹市生まれ。高校卒業後、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、南米などを旅する。在日フィリピン人向けレンタルビデオ店で勤務することで、日本で暮らす外国人の課題を知る。1995年1月阪神大震災直後に外国人被災者へ情報を提供する「外国人地震情報センター」の設立に参加。同年10月、「多文化共生センター」への組織変更に伴い事務局長に就任、2004年3月まで同センター代表を勤めた。総務省「地域における多文化共生推進研究会」構成員として、2006年3月に同省がまとめた「多文化共生推進プラン」の策定に参画。外国人が直面する課題対応のための地域社会変革の仕組み作りを提案し続けている。



阿部 梅子(あべ うめこ)氏：有限会社うめちゃんキムチ本舗　代表取締役

韓国・ソウル市生まれ。韓国名は金梅永(キム・メイヨン)、日本名は阿部梅子。韓国で印刷会社に勤務後、山形県朝日村(現・鶴岡市)在住の日本人と知り合い、31歳で来日・結婚。当時の村では外国人花嫁第1号。自宅で作ったキムチが近所で評判になり、平成8年からキムチの製造、販売などを手掛け、現在は鶴岡市にて有限会社「うめちゃんキムチ本舗」を経営するほか、韓国料理店「チング」、東京都内に「焼肉うめちゃん」を経営。地域の物産館にてキムチを販売することで、観光客増加と物産館収益増加の一翼を担い、更には、アジアから来た花嫁さんを積極的に雇用し、経済面・雇用面で地域に貢献している。

市村次夫(いちむら つぎお)氏：株式会社桝一市村酒造場　代表取締役



1948年長野県生まれ。1971年慶應義塾大学法学部卒業。同年信越化学工業株式会社に入社。1980年に同社を退社し、株式会社小布施堂代表取締役、株式会社桝一市村酒造場代表取締役に就任。現職。
国土交通省地域振興アドバイザー、長野県都市計画審議会会長、長野県人事委員会委員長等多数歴任。
その他、日本建築学会文化賞(1998年)、デザインエクセレントカンパニー(2005年)、藍綬褒章(2009年)等受賞。
1994年にアメリカ人のセーラ・マリ・カミングス氏を雇用し、セーラ氏と共に地域の人材を講師として招く「小布施ッション」や観光客に町全体を巡ってもらうことを目的として「小布施見にマラソン」等酒造場を拠点に、伝統と地域資源を活かしたまちおこし事業を数々展開している。

衛 紀生(えい きせい)氏：可児市文化創造センター aLa(アーラ)　館長兼劇場総監督



早稲田大学中退後、虫プロダクション企画演出課に勤務。ほぼ同時に演劇批評家として雑誌「新劇」等に連載を始める。70年代後半、山崎哲、渡辺えり子、北村 想、竹内銃一郎らをいち早く評価して「第三世代」のネーミングマスターとなる。80年代後半からBSエンターテイメント・ニュースの演劇キャスターを務め、93年に地域演劇の振興と演劇環境の整備を目的に舞台芸術環境フォーラムを設立。早稲田大学文学部講師。県立宮城大学事業構想学部・大学院事業構想学研究科客員教授を経て現職。
現在、文化庁芸術拠点形成事業委員　芸術文化振興基金地域文化活動専門委員、長岡芸術文化振興財団アドバイザー、など十数地域の自治体文化行政にかかわる一方で、文化庁、財団法人地域創造、芸術文化振興基金、などの委員を務め、あわせて日本照明家協会賞舞台部門、ニッセイバックステージ賞等の審査委員を務める。
現在、可児市文化創造センター aLa(アーラ)では、多文化共生プロジェクトとして、可児市や周辺地域に住む外国人住民を含む地域住民が実施する演劇ワークショップを開催し、年1回同センターで公演を行っている。

渡邊 崇志(わたなべ たかゆき)氏：株式会社宿場JAPAN　代表取締役社長



15カ国以上の海外バックパックトラベル経験と大学時代の中国留学経験から、海外からのインバウンド客を多く迎え入れ、周辺住民、商店、自治体とをつなぐ地域融合型ゲストハウスを開業。延べ約4000人のゲストを受け入れた。自身が最も苦労した経験である開業前の人脈・お金・旅館営業のスキルがないという問題を地域活動を行うことで全ての課題を解消させる「宿場JAPANプロジェクト」を始動。街づくり団体、自治体と、地域活動を行う宿を経営した若者をマッチングを狙い、将来的に、全国に地域融合型ゲストハウスを展開して、「宿場(シュクバ)」化を目指す。現在長野須坂で新たなスタイルの地域融合型ゲストハウスを立上げ中。

JIAMメールマガジンのお知らせ

JIAMでは、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

「JIAM遠隔英語コース」のご案内

JIAMでは、インターネットを活用した語学研修「JIAM遠隔英語コース」を毎月開講しています。皆様のご参加をお待ちしています。申込方法などの詳細については、JIAMホームページをご覧ください。

「JIAMパブリック・マネージャー認定コース」のご案内

「JIAMパブリック・マネージャー認定コース」は、自治体経営に必要な能力を養うための研修でJIAMが指定する科目(研修)を受講し、必要な単位を取得した方を、JIAMパブリック・マネージャーとして認定するものです。申込方法などの詳細については、JIAMホームページをご覧ください。

夏期における軽装について

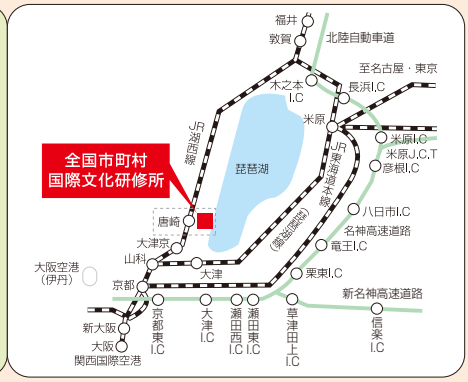
当研修所では、地球温暖化防止及び省エネルギーに資するため、夏季の期間(5月16日から10月31日)は、「ノー上着・ノーネクタイ」などの軽装での受講を推奨しており、職員も軽装で執務しております。公務研修の場における服装として品位が保てる軽装で受講してください。

研修所の 所在地

研修所までの交通のご案内

■最寄り駅は、ＪＲ湖西線唐崎駅です。
■ＪＲ京都駅から唐崎駅までの
　所要時間は、約15分です。
■ＪＲ唐崎駅から研修所までは、
　徒歩約３分です。





FAXにてのお申込は
矢印の方向にて

平成23年度　JIAM国際文化系研修受講申込書

研修名 及び時期	**多文化共生のまちづくり~外国人パワーで地域を豊かに!~** **平成23年10月18日(火)~10月19日(水)**

市区町村コード番号		※全国市町村要覧に記載のコードを６桁で記入してください。 （例：12345-6の場合、123456と記入。）

団体名	都　道 府　県	市　区　町　村 組　合	
所在地	〒	申込み手続の担当課名	
		担 当 者 名	
		電 話 番 号	
		ＦＡＸ番号	
		E-mail	
（NPOの方） 地方自治体 との協働内容			

受講者	所　　属	
	役　職　名	
	ふりがな	
	氏　　名	
	年　　齢 （入寮時の年齢）	歳
	性　　別	男　・　女
	本研修関連職務の 通算経験年月数 （研修開始日現在）	年　　ヶ月

上記のとおり、研修の受講を申し込みます。

平成　　年　　月　　日

団体の長の職　氏名

全国市町村国際文化研修所学長　あて

公印省略可

この申込書でご提供いただいた個人情報は、今回の研修事務にのみ使用します。
なお、集約した統計データ等は、機関誌などの発行物に掲載することがあります。

全国市町村国際文化研修所(JIAM)教務部 FAX 077-578-5906